

こうげい

誠実 元氣
信愛 規律

●工芸高校110周年記念行事を迎えて

築地工芸会会長 坂巻 章雄



坂巻会長

平素は築地工芸会の活動に多大なるご支援を賜わり、誠にありがとうございます。

母校工芸高校は、本年110周年を迎え、5月28日(日)に文京シビックホールを会場として記念行事が挙行されました。全日制・定時制合わせ在校生900名超、教職員90余名、ご来賓も150名を超える大勢の方々のご出席の

●創立110周年記念式典御礼

校長 鳥屋尾 史郎



鳥屋尾校長先生

えして、創立110周年記念式典を挙行することができました。また、式典に引き続きの祝賀会でも大勢の御出席をいただき、盛大に110周年を祝うことができました。式典、祝賀会の運営に御尽力いただきました築地工芸会の皆様、本当にありがとうございました。

校長室には都立工芸高校の歴史を伝える周年誌等の資料があります。110年の長い歴史の中ではいろんな出来

下、110周年のお祝いが出来ました事に築地工芸会会長として、心より御礼を申し上げます。

記念式典では、ご来賓代表者の方からの祝辞に加え、在校生の作品展示、各科ごとの授業内容を発表するプレゼンテーションが行なわれるなど工芸生らしい式典となり、大勢のご来賓より好評を博しました。

この記念式典を成功させることが出来たのも、鳥屋尾校長以下、教職員皆様のご協力と築地工芸会役員、全定PTA役員さんなど、大勢の方々のご尽力があったことでした。

第1回目の準備委員会からこの2年間に、主な会議でも10回以上、小委員会等を含めると毎月のように会合が開催されました。

さらに本年の創立110周年を契機に、2万2千余りのOB会員同士の繋

事があり、資料を読みますとその時々苦勞が伝わってきますけれども、長い歴史の中でも私が特に面白く感じられる時代は、大正年間の築地に校舎があった時代です。有楽町駅方面から学校に向かうには、服部時計店の時計塔、歌舞伎座の前を通り過ぎて万年橋を渡り、校舎の入口に到着する道のりを歩きますが、この通りは昔も今も日本で一番華やかに賑わう目抜き通りです。「日本の流行は銀座から、銀座の流行は工芸から」という言葉があったようですが、きっと事実だったでしょう。もともと路面電車で通学していた生徒たちが、禁止されているにも関わらず、

がりを強め、母校工芸高校の継続的な支援を行うために、昨年17年ぶりに築地工芸会の名簿更新も行ないました。

今年の年末から年明けを目処に、名簿に記載されました皆様宛てに、会報誌「こうげい」と会費1500円の納入をお願いするお便りを発送致します。会費納入をして頂けました会員の皆さまには、引き続き「こうげい」を郵送させていただきます。ご理解とご協力をお願い申し上げます。

現在、工芸基金より毎年工芸祭の費用の一部、学校図書館への蔵書、皆勤賞記念メダルの製作費等、母校で学ぶ在校生の支援と応援を続けております。引き続き、築地工芸会皆様からの温かいご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。工芸高校110周年記念式典のご報告と致します。

路面電車から飛び降り、飛び乗る様子も記録されていて、今の生徒たちの雰囲気と共通するものがあるように感じます。

創立110周年記念式典では、式辞の中で「これからの社会の在り様、ライフスタイル、それに伴う必要な「ものづくり」や「デザイン」をきちんと提示することが、創立以来これまで、日本の「工業」「工芸」「デザイン」をリードしていた本校の役割である。」ということをお願いしました。卒業生の皆様と協力して都立工芸高校をますます発展させていきたいと思っております。どうぞよろしくお願いいたします。

東京都立工芸高等学校

創立110周年記念式典・

祝賀会開催される

東京都立工芸高等学校は、本年、創立110周年を迎えました。これを記念して5月28日(日)13時30分から文京シビックホール大ホールにおいて母校主催の記念式典が行われました。

また、同日、18時からはホテル東京ガーデンパレスにおいて、築地工芸会・PTA共催の祝賀会が開催されました。



母校主催 文京シビックホールにおける記念式典で
挨拶をする坂巻築地工芸会会長



全2年G科 亀田結愛さんデザイン

5月28日(日)18時に開会した祝賀会は、たくさんの築地工芸会会員の方々が参加され、工芸高校の鳥屋尾校長先生、来賓の方々も駆けつけて下さり、180人を超す参加者で盛大に執り行われました。

祝賀会は、主催者の坂巻築地工芸会会長、笹原全日制PTA会長、山岸定時制PTA会長の挨拶に続き、工芸高校の鳥屋尾校長先生にお言葉をいただき、その後、桜井理事の音頭で乾杯をして、盛大に行われました。

築地工芸会・全日制PTA・定時制PTA共催

創立110周年記念祝賀会

祝賀会は、平成13年A科卒のフリーアナウンサー、中山裕子さん(圭三プロダクション所属)の司会によってなごやかに進行了ました。

しばらく歓談した後、メインイベントの各科代表の卒業生による活動発表がありました。若手卒業生の素晴らしい活動の発表に、皆、しばし箸を休めて聴き入りました。



司会の中山裕子さん



乾杯の音頭はI科 桜井理事



M科 香取輝さん(平成27卒)



A科 菊地有悟さん(平成27卒)



D科 トミムラコタさん (平成21卒)



G科 吉葉美桜さん (平成26卒)



I科 宇田愛さん (平成21卒)



校長先生も合唱団員です

もうひとつのイベントは、工芸高校 PTA 混声合唱団 H I A によるコーラスが披露されました。この舞台が長年指揮者を務められた山本先生の最後の指揮となりました。



定時制 G科 金子瞳美さん (平成12卒)

●工芸高校 110 周年行事お礼

全日制 PTA 前会長 笹原 良太

ご縁があり PTA 会長を 3 年間仰せつかりました。桜井前会長、坂巻会長、築地工芸会の方々には大変お世話になりました。最後に 110 周年行事も手伝わせて頂き光栄に思っております、誠にありがとうございました。

約 1 年間の準備期間でしたが守屋



笹原全日制 PTA 前会長

先生をはじめ先生方にも沢山の協力頂き、築地工芸会、学校、PT

の場を借りてご報告させて頂きます。最後に、記念誌でも触れさせて頂きましたが私は築地工芸会の方々が楽しく談笑されている光景を見るのがとても好きでした。これからも皆様の和合のもと新たなイノベーションを育んで頂ければ幸いです。

●工芸高校 110 周年に寄せて

定時制 PTA 前会長 山岸 博

きました。

都立工芸高等学校 110 周年おめでとうございます。
本校の創立は 1907 年（明治 40 年）で、明治、大正、昭和、平成と四つの時代に起きた洪水、震災等幾多の困難を乗り越え、物造り日本を支える多くの技術者を輩出して



山岸定時制 PTA 前会長

を輩出して

先日行われました 110 周年記念式典で、全日制、定時制の生徒による各科の報告を聞き、展示作品を見たときに、目的意識を持って本校に來ていることが良く分かり、本校の前途は明るいと感じました。
生徒を指導して下さる教職員の皆様、そして物心両面から支えて下さっている築地工芸会の皆様に感謝いたします。



各科副会長さんによる中締め

楽しく過ごした祝賀会も中締めの間となり、築地工芸会副会長の音頭で中締めとなりました。



舞台上に神山先生と安原先生（元）も飛び入りしました

引き続き、全員参加で校歌を斉唱しました。

祝賀会が終わった後は、各科の記念撮影



M科の皆さん



A科の皆さん

中締めを終わっても帰る人は少なく、各科の記念撮影などで名残を惜しましました。



G科の皆さん



I科の皆さん



PTAの皆さん



D科の皆さん

事務局より

◎一般寄付・ご芳名

本年3月4日以降、8月2日現在、ご芳志をお寄せいただいた方々は次の通りです。どうも有難うございました。
(順不同・敬称略)

福田佳代、浅井将治、萬羽進、関根伸司、鈴木季晴、木口克行、岩井輝興、岩崎龍二、山本透、小山清一、中代源次郎、上床亦、渡辺義太、木下幸秀、村奈嘉義雄、穴吹昭勝、内山孝、内藤亮一、鹿野伸子、佐藤幸夫、猪俣新治、大林真理子、安室典忠、青山龍雄、川津敬介、田代智隆、五十嵐賢治、石川孝史、橘正春、鈴木陽子、中村保弘、松村金太郎、浦野至誠、平野堯久、長谷川栄、服部功、渡辺一孝、村上繁、佐野一義、矢吹郁雄、筒井健郎、渡辺昇平、井上正治、金親二郎、亀井格一、浅岡忠彦、大野武夫、丸山士郎、大塚晃啓、野本能義、津久井弘光、神山隆夫、片岡彪、渡辺昭順、細江邦雄、布施達也、岩井昌代、古木嘉雄、高橋裕次郎、坂江清、安藤良子、磯野祥、杉本勉、櫻井敏之、福田哲夫、佐藤治、金澤静夫、神山智子、中山清、五反田稔、滝澤方美、前田竹明

平成29年度累計

三三三、五〇〇円

●第54回中京工芸会

総会のご案内

昨年「築地工芸会」の新しい名簿が完成し、愛知・岐阜・三重の中京地区に在住の方が新たに11名が判明しました。会員総数33名となりました。今年はこの11名にもご案内を送付し、「中京工芸会」を認識して頂き、出席され、賑やかな総会が開催出来ることを願っています。

毎年、10月の第3日曜日を「築地工芸会支部 中京工芸会の日」とし、会場も名古屋市の「日本料理 大森」と決めています。今回は第54回ということで、毎年欠かすことなく50数年の歴史を刻んで来ました。工芸同窓生の老若男女が一堂に会し、昔話に花を咲かせて欲しいと思います。会員の方には別途事務局より、案内状を送ります。

会場は名古屋城を隣に、能楽堂の敷地内に有り、雰囲気有る場所です。少し早めにお越し下されば周りを探索するのも結構かと思えます。

日時 10月15日(日)12時～

場所 日本料理 大森

TEL 052-218-2220

名古屋市中区三の丸1-1-1

(名古屋能楽室内)

地下鉄 鶴舞線「浅間町」下車

1番出口より東へ徒歩10分

地下鉄 名城線「市役所」下車

7番出口より西へ徒歩12分

中京工芸会副会長

五反田 稔(昭35・M卒)

●「2017年関西工芸会の集い」のご案内

関西在住の方に限らず、秋の3連休関西に観光も兼ねて是非気軽にいらしてください！

関西工芸会会員の方には案内を配送しておりますが、もしこの会報をご覧になって参加してみたいという方がいらつしやいましたら、築地工芸会までご連絡ください。

▼日時・11月4日(土) 12時～

会場・大阪道頓堀かに道楽本店

関西工芸会事務局

松田 健(平成13・A卒)

◆平成29年度

第1回理事会報告

平成29年5月8日、母校会議室において平成29年度第1回理事会が開催されました。

●議事に先立ち、次の新理事が提案され、承認されました。

新理事 M科 坂元勝彦(昭和48卒)

藤岡俊平(平成26卒)

D科 鈴木陽子(昭和46卒)

議事

1. 平成28年度決算・平成29年度予算報告

・一般会計は、16,279円の赤字であった。

・平成28年度決算・平成29年度予算は承認された。

2. 会員数、会費納入・寄付の現況について

会費は、ほぼ例年同等の収入であるが、寄付は平成27年10月以降、大幅に減少している。改善策を討議し会員の増加を図る以下の改善案が出された。

●今後、実施する改善策

- (1) 会報臨時号を2018年1月に発行し、会費未納者を含め、名簿に掲載されている卒業生に送る。臨時号の内容は、入会(会費納入)を勧める内容を主とする。
- (2) 寄付金の項目を設けた会費振込用紙を会報に同封する。

●M科 OB・OG作品展示

母校におけるOB・OG展示は、M科の作品が展示されています。母校を訪問された際はぜひご覧ください。次はD科の展示が予定されています。



M科 OB・OG展示

● 校友の活躍

次の方々の出品がありました。

◎ 出品

第46回 伝統工芸 日本金工展 A科卒業生が目覚ましい活躍

4月29日(土)・祝く6月25日(日)、明治神宮文化館 宝物展示室において、第46回 伝統工芸 日本金工展が開催されました。

人間国宝 田口壽恒さん(昭和34年卒)、人間国宝 桂盛仁さん(昭和39年卒)、正会員 大沼千尋さん(昭和45年卒)、の素晴らしい作品が出品されました。



人間国宝 田口壽恒さんの作品 鍛臘銀菓子器



米倉真理子さんの作品
接合象嵌孔雀羽文小箱



正会員 大沼千尋さんの作品
切嵌銅花器



人間国宝 桂盛仁さんの作品
麦文筆筒



厚見玲音さんの作品
透文様切嵌象嵌置行燈「胡蝶の夢」



星野玲さんの作品
銀トカゲブローチ「あへっ」

一般では、米倉(旧姓 足立)真理子さん(昭和58年卒)が入選し、個性豊かな作品が出品されました。

また、若手作家の奨励を目的とする「21」部門では、昨年卒業した星野玲さん、本年3月に卒業したばかりの、厚見玲音さん、井上美夏子さん、橘和美咲さんが入選し、出品されました。

昨年も卒業したばかりの2名が入選して注目されましたが、本年はさらなる活躍がありました。

伝統工芸の世界での都立工芸卒業生の活躍が目覚ましく、ますます期待されます。



橘和美咲さんの作品
銀打ち出しブローチ、リング「水葵」



井上美夏子さんの作品
銅青銅置物「緋鯉の影、真鯉の姿」

「投稿を歓迎します。」

*皆様の個展、出品、受賞、クラス会等の様子をお知らせ下さい。

郵送先・築地工芸会(工芸高校の住所)
メール送付先: taquya@nifty.com

◎ 出品

第51回 日本伝統工芸染織展

日本橋三越本店 本館7階

鈴木 ゆき子氏 (昭和49・D卒)

細織着物「白山吹」

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

中板中形着尺「斜交文」

第57回 東日本伝統工芸展

日本橋三越本店 新館7階ギャラリー

・ 染織

鈴木 ゆき子氏 (昭和49・D卒)

細織着物「風光る」

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)

長板中形着尺籠目文

・ 金工

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒)

切嵌花器

桂 盛仁氏 (昭和39・A卒)

人間国宝

春光 銀花瓶

・ 木竹工

須田 賢司氏 (昭和48・F卒)

人間国宝

楓の小箱

日本工芸会 正会員による

五月の風 金工展

日本橋高島屋 6階美術画廊

大沼 千尋氏 (昭和45・A卒) (鍛金)

2017年第56回

日本現代工芸美術展

上野公園・東京都美術館

春山 文典氏 (昭和39・F卒)

森の窓



森の窓

第1回カタコトの会展

江戸からかみ東京松屋4F

松原 伸生氏 (昭和59・D卒)



松原さんの作品

91 国展

六本木国立新美術館

安富 信也氏 (昭和31・D卒)

天国と地獄



天国と地獄

創立70周年記念

第75回公募 高田洋画会展

大和高田市文化会館 さざんかホール

畔上 八寿男氏 (昭和48・F卒)

久遠の月

平成29年度 工芸祭

平成29年10月28日(土)・29日(日)の2日間、母校に於いて「工芸祭」が開催されます。後輩の勉強の成果をどうぞご覧ください。

見学の後に、クラス会を開催するクラスが増えています。

I.F.パートナーズ特許事務所

弁理士 中山 清
(昭33年M科)〒101-0064
東京都千代田区猿樂町2-8-16
平田ビル8階電話 03-5577-3025
FAX 03-5577-3027
Email nakayama@ifpat.gr.jp

取扱説明書

マニュアル

翻訳

テクニカルイラストレーション

3D

音楽

通販

技術資料の制作

PLANNING CENTER
STATION.M
有限会社ステーション.エム

Instruction manual

Service Manual

Translation

Technical Illustration

3D

Music

Mail-order selling

有限会社 ステーション・エム

代表取締役 細江 邦雄(M41)

本社 〒162-0828 東京都新宿区袋町25細江ビル
電話 03-6280-8455 FAX 03-6280-8456
http://www.station-m.co.jp/ e-mail: hosoe@station-m.co.jp

● 校友の活躍

◎ 出品

第65回記念 彫刻 創型展'17

上野公園・東京都美術館・ギャラリー
5月20日(土)～27日(土)東京都美術館で
開催された創型展では、4名のOBと
元教員が出品し、彫刻の世界でも工芸
OBが活躍していることがアピールさ
れました。

特に元M科教員の渡邊賢二先生の
「今ぞ不動」は「記念大賞」を受賞、
三木雄志さんの「風薫る」は「選賞」
を受賞し、来場者の注目を浴びました。

同人

佐野 一義氏 (昭和17・F卒)

「希望」

「座像A」「座像B」

「1994年の追憶」

渡邊 賢二氏 (元M科教員)

「今ぞ不動」記念大賞 受賞

「小坊主」

「伐折羅」

三木 雄志氏 (昭和42・F卒)

「風薫る」選賞 受賞

「早春」

「少年Y」

一般

豊島 眞氏 (昭和29年・M卒)

「邪鬼たちの夢」

神山 智子氏

(昭和47・D卒／元D科教員)

「勢至菩薩」



神山智子氏の作品
「勢至菩薩」



豊島眞氏の作品「邪鬼たちの夢」



三木雄志氏の作品
「風薫る」 選賞 受賞



佐野一義氏の作品
「希望」

記念大賞を受賞して

渡邊 賢二

思いがけない記念大賞を頂きありが
とうございます。

今回の作品名「今ぞ 不動」は、今
彫らなければ(立ち上がらなければ!)
との思いを不動明王に込めました。

人が近づけば白眼がボーと赤く2回
光り、少しでも動くと又光るようにな
っています。以前から、如来や菩薩以
外の天、明王などの仏像に一度試して
みたいと思っていたことです。

物が大きくなると、本体以外に岩座、



渡邊賢二氏の作品「今ぞ不動」 記念大賞 受賞



会場で、渡邊賢二先生

火炎光背、持物などの部分を彫るにし
ても大変な作業量になり今回は途中で
諦めようとも思いましたが、やるなら
今ぞ…と心の中で葛藤しながらも何と
か完成し、展示出来ました。(創型会
会報用原稿より抜粋)

◎個展

宙・大地 風わたる―

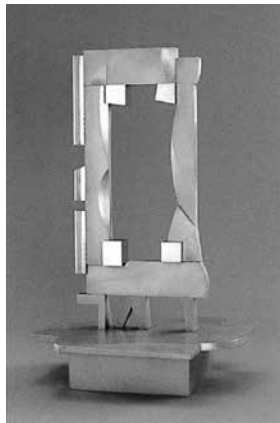
金属造形による

春山 文典展 (昭和39・F卒)

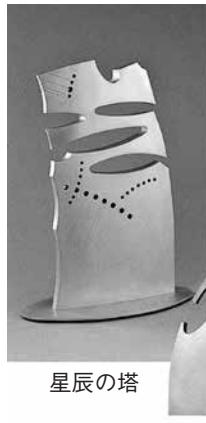
おぶせミュージアム・中島千波館



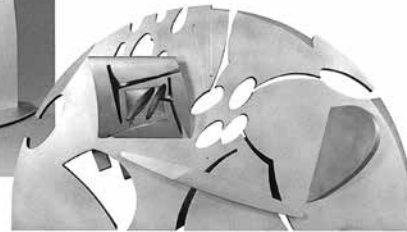
風の祭り



フラグー4月



星辰の塔



満天図

◎個展

清水和男作品展 (昭和40・D卒)

武蔵野市立吉祥寺美術館

市民ギャラリー



川人 武 個展 (D科教員)

銀座 光画廊



会場で 川人先生

●クラス会

●昭和34年全日制A科卒クラス会

平成29年6月8日、安原先生と牛込先生をお迎えして2年ぶりのクラス会



昭和34年全日制A科卒クラス会

を御茶ノ水ホテルジュラクで開きました。2年の間に療養中の馬淵彰夫さん、解良竜功さんが亡くなりました。寂しいです。この会があるから2年間頑張つてこられたという出席者の言葉が耳に残ります。

会の終盤、前回に続いて安原先生が都立工芸の応援歌を皆で歌おう!!で祝勝歌「♪若き腕(かいな) 怒れる血汐...」校歌「♪帝都の中央宮居に近く...」を出席者23名で大きな声を

張りあげました。今回は母校で長い間の歌唱指導をされていた山本純子さんからなんと、直接楽譜と肉声によるテープを頂くことが出来ました。宴会中に繰り返し流してもらいましたので皆、自信を持って歌うことが出来ました。山本さんが妹の「ママ友」!!世の中いろいろなところですがつながっていました。集合写真を撮って2年後にはまた全員が戻ってくることを約束して解散しました。(櫻井敏之)

プラスチック
金型製作真空成型型
プレス抜型圧空成型型
トムソン抜型企画
デザイン

— 試作 — 本型製作 — 成形立上げ

V. MOLD

バキュームモールド工業株式会社

本社・〒131-0031東京都墨田区墨田5-23-11

tel 03(3614)1556

fax 03(3614)1559

埼玉工場・〒340-0831埼玉県八潮市南後谷107-5

tel 048(932)5440

fax 048(932)3960

-詳しくはホームページで-

http://www.vmold.co.jp/

e-mail

caduser@vmold.co.jp

クラス会

●昭和39年全日制A科卒 日本新工芸展見学

5月21日新国立美術館へ担任の安原敏郎先生と4名で見学に行き、同級生で田中照一氏の作品は今回、京都府知事賞を受賞され本人に解説していただき、各フロアーの作品も解説を聞きながら見学し、その後場所を移し食事をしながら話が盛り上がり散会いたしました。参加者が少ないのは残念ですが次回は日展の予定です。写真右は尾澤勇氏（昭和57年卒）（坂巻 亨）



昭和39年全日制A科卒 日本新工芸展見学

●昭和51年全日制M科卒クラス会

昭和51年（1976年）全日制M1卒業のクラス会を2017年7月16

日、神田の居酒屋にて開催しました。

今回の開催目的は、我々も今年で還暦となるため、皆で還暦祝いと昨年ご病気で他界された同級生の川倉司君を偲ぶために開催しました。前回の開催は20年前で、その時は担任の鈴木博先生もご出席していただきました。残念ながらその後、鈴木先生はご病気で亡くなりになり、また、この時一緒に出席していた渡辺恵一君も他界されました。

今回の開催にあたり、同級生に連絡すると転居者がかなり多く、調査の結果、5名の不明者以外の23名と連絡が取れ17名の出席となりました。クラス



還暦クラス会（1976年M1卒業生） 2017. 7. 16 神田にて

昭和51年全日制M科卒 クラス会

会は卒業以来3回目ですが、今回初めての参加者もあり、それこそ玉手箱状態で、お前だれ？と笑いが絶えませんでした。今回不要かと思ったのですが、名前と顔が一致しないと思い名札を作ってきて正解でした。

3時間宴でしたが、思い出話が尽きず、高校時代に帰った一夜となりました。亡くなった鈴木先生と同級生の2名のご冥福とまた次回のクラス会で、皆が元気で会えることを祈り閉会致しました。（鈴木 雅之）

津久井正幸先生と私の砂町ツナガリ

一九五四年（昭二九）全M六卒 布施 達也（砂町の住人）

母校創立一一〇周年を迎えた本年は、永らく築地工芸会を支え続けられた津久井正幸先生が、二〇一二年（平二四）二月二日に幽明境を越えられてから早や五年と言う年でもあります。

私は卒業以来、特に母校に関わりは

ありませんでしたが、津久井先生とは創立八〇周年記念（昭六二）の時、「天皇行幸映画の件」でお便りを差し上げた事がありました。その後九一年（平三）の機械科精機会（トプコン見学会）で初めて御目に掛り、ご挨拶が出来ただけ位いが私との「ツナガリ」でありました。

「天皇行幸映画の件」とは、私が在学中に図書部員として図書室整理中映画フィルムを発見し、司書の近野先生が映写したところ、昭和天皇が三〇年（昭五）三月に当校に行幸された時の実写フィルムと分かりました。その記憶がありましたのでご連絡したので

津久井先生は早速近野先生に確認を取ったところ、その件はご記憶があり、又先輩方の中にも在学中その映画を観たと言う証言もあったと言う事でした。しかし残念ながら既にそのフィルムの所在は不明でした。

〇三年（平一五）に築地工芸会に僅かばかりの寄付を致しましたところ思い掛けず先生からお手紙を頂戴いたしました。

「私は生まれも育ちも砂町です」との何処かで聞いたような書き出しでの望郷の思いを込められたお便りでした。この「砂町」とは、現在江東区北砂・南砂・東砂となっており、当時の旧称で、私も三五年（昭一〇）当時の北砂町で生まれ育ちました。が、一概に砂町と申ししてもいささか広うござんす。と、言った訳けから手紙の遣り取りが始まりおおよそ次の事が分かりました。

先生は「砂町第一小学校」に入学、

六年生進級時に新設の「砂町第四小学校」に転校、三五年（昭一〇）に卒業されました。

記念すべき「第四小学校第一回卒業生」です。因みに第一小学校の方は、母・私・第三人・倅二人の母校です。

先生は卒後地元（株）鈴木鉄工所に入社、社長夫人に特に目を掛けられて、その勧めで「府立工芸学校（二A九）」に入学……

鈴木鉄工所はその後ガスタンク等の製造で日本では一、二を競う東証上場のメーカーとなりました。

先生の少年時代のお住いを伺ったらなんと、私の家から徒歩一分位の所でした。そして先生のお父上は、当地に近い深川木場の材木問屋社長付き運転手だったそうで、社用車を「自宅近所のコンクリート造りのガレーヂ」に入れていたとの事でした。

このお手紙を戴いた頃は私の母はまだ健在でして、訊いたところ当時あの辺りで「コンクリートのガレーヂ」は私の所一軒しか無かったとの事でした。四五年（昭二〇）の空襲で倒壊したこのガレーヂは私にも記憶があります。

先生曰く「父が帰宅すると洗車の間に近所の山城屋酒店に晩酌の酒を買いにやらされて……」とか。まとめて買うと一度に飲んでしまうからですと。蛇足ですがこの山城屋の一人娘が母の親友で、後に琉球大水産学部長夫人となりました。

りました。

二〇〇〇年（平一二）頃、新聞で第四小学校の同窓会があるとの記事を見て出席したら「知人が誰もいなかった……」とか。「同級生がいたら会いたい……」。で、私、二人探し出しました。

一人は元区会議員のA氏ですが前年に亡くなっておりました。もう一人の元荒物店のB氏も認知症で入院中と言う事で、非常に残念な結果でした。B氏の叔父が大正時代の工芸生（中退）で、その子息の結婚式媒酌人は不肖私共夫婦が務めたご縁があり旧知の人でした。

電話でも戦後の砂町の変り様などお話すると、先生も昔話しに花が咲き数十分も電話が切れませんでした。

或る時のお手紙に「私が生まれ育った砂町を妻に見せたい」とありました。「お声を掛けて頂ければ何時でもお迎えに参上」と申し上げて置きながら、遂にそれを実現出来ませんでした。

一三年（平二五）末、第四小学校同窓会の方が先生の第四小学校卒業写真コピーを届けて呉れました。お亡くなりになったのですが、取敢えずお送り致しましたところ、姪御様からご丁寧なるお礼のお電話を頂きました。この件も手遅れでありました。

私が入学した五一年（昭二六）、当時の校長石引一郎先生からの要請で築地工芸会事務局長をお引き受けになったと伺いましたが、それから六十余年

に亘り先生はボランティアで「築地工芸会」の為に尽力されたのです。

「私は生まれも育ちも砂町です」と、ご一筆を頂いた時から始まった他の同窓生とは異なる不思議なご縁が懐かしくて、一筆拙文を記しました。

ここに改めて、津久井正幸先生のご冥福をお祈りいたします。

この拙文を書くに当たり、永らく先生のアシスタントを務められた大林真

TAKI GROUP

広告制作会社
たきグループ

グループ創業者
滝澤方美
D3(昭29)

株式会社たき工房
〒104-0045 東京都中央区築地5-3-3 築地浜離宮ビル14F TEL:03-3524-1351(代) URL:http://www.taki.co.jp

- (株)たき工房
- (株)たきホールディングス
- (株)日本コマーシャルフォト
- (株)ブラン
- (株)ワークアップたき
- (株)インパクトたき
- (株)たきC1
- (株)タクト

理子様（昭四六年・D二〇卒）より頂いた、大林様が編集され津久井先生が二〇〇〇年（平一二）に発行された冊子、「さまざまの記・東京府立工芸学校 第二本科九期の会」を参考にさせて頂きました。

有難う御座いました。

訃報

前回の会報168号以後、本会宛正式にご連絡がありました方々は、次の皆様です。ご冥福をお祈り申しあげます。

（ ）内は逝去された日です。

江口 鉦三郎氏	昭13・M卒	(29・4・9)
児玉 豊氏	昭17・M卒	(29)
松浦 敏夫氏	昭21・M卒	(26・1・21)
北村 信夫氏	昭22・A卒	(29・4・17)
前田 耕蔵氏	昭23・M卒	(29・1・28)
小泉 修一氏	昭25・M卒	(26・7・12)
伊藤 祥氏	昭26・A卒	(28・11)
西田 篤生氏	昭26・M卒	(29・8・22)
中村 幸夫氏	昭27・M卒	(27・3・18)
棚村 洋祐氏	昭27・D卒	(29・1)
江間 一男氏	昭28・M卒	(29・1・25)
野口 義雄氏	昭28・M卒	(29・4・20)
島崎 達也氏	昭28・F卒	(29・1・9)
尾上 健一氏	昭28・D卒	(29・3・16)
高橋 則弘氏	昭30・A卒	(28・6・21)
井口 尚之氏	昭34・F卒	(29・4・14)
戸口 硯夫氏	昭36・P卒	(23・11・15)

母校だより

コンクール等の入賞者・成績

全日制

ART CRAFT

●東京ドームホテル 第5回「AQUA ARTデザイン・コンク」

最優秀賞

2年「キラキラ水道橋花火」制作班

優秀賞

2年「竜宮城へようこそ」制作班

敢闘賞

2年「UMAの夏」制作班

●国際コイン・デザイン・コンペティション2016

学生部門フューチャー賞

3年 中湊葉津海

●ヒコみづのジュエリーカレッジ

高校生デザインコンテスト

佳作 1年 蒲地璃選

●第29回優秀板金製品技能フェア

銀賞 丸山由花子

優秀賞 坂牧なつみ

●第46回伝統工芸日本金工展

+21部門 入選

星野玲 厚見玲音 井上美夏子

●色彩検定

2級 3年 1名合格

3級 2年 1名合格

●MACHINE CRAFT

●平成29年度全国高校生ポスターコンクール

奨励賞 1名

●計算技術検定1級 4名合格

●機械製図検定 10名合格

●危険物乙種Ⅱ類 2名合格

●Ⅲ類 2名合格

INTERIOR

V類 7名合格
VI類 7名合格

●第12回若年者ものづくり競技大会

(木材加工)

銅賞 3年 山枝明美 伊藤聖樹

●第68回建築CAD検定試験

2級 3年 4名合格

3級 3年 2名合格

●レタリング検定

3級 2年 32名合格

3年 5名合格

●色彩検定

2級 2・3年 3名合格

3級 2・3年 2名合格

GRAPHIC ARTS

●港区立図書館がすすめる本のリーフレット

表紙イラスト 優秀賞(採用)

3年 高橋倭生

●平成29年度3R推進ポスターデザインコンテスト

佳作 3年 高橋倭生 澤谷麻紀

松原佳奈 大出志保

●公益社団法人日本不動産鑑定士協会

連合会「PR動画コンテスト」

広報委員長賞 3年 松原佳奈

●色彩検定

2級 2年 1名合格

3級 1年 1名合格

DESIGN

●(冊子)都立高校に入学を希望する皆さんへ

表紙原画採用 2年 加藤彩乃

挿絵採用 2年 西川菜那

●平成29年度学校要覧
表紙原画作成 3年 山戸菜摘

●文京区社会を明るくする大会

ポスター、チラシ原画採用

1年 佐藤こころ

パンフレット表紙原画採用

3年 中安さくら

●レタリング技能検定

1級 2年 1名合格

2級 2年 5名合格

3級 2年 30名合格

●色彩検定

2級 2・3年 4名合格

3級 2年 2名合格

定時制

ART CRAFT

●パソコン利用技術検定2級合格(公益社団法人全国工業高等学校長協会)

2年 高久茉衣 奈良場汐音

小童谷優月

4年 日野忠大 宮川曉代

平成29年7月14日実施

平成29年8月4日認定

●MACHINE CRAFT

●計算技術検定

1級合格 4年 駄原耀司

2級合格 4年 川上尚紀

3級合格 2年 江幡二千翔

鈴木純麗

●機械製図検定

合格 3年 岡田真生

INTERIOR

●平成29年度 住まいのインテリアコー

ダイネイトコンテスト「高校生部門」
高校生部門賞 3年 山口蒼太

●平成29年度 トライデント インテリアデザインコンテスト2017

審査員賞 3年 山口蒼太

入選 3年 渡邊瑠偉

●第11回 高校生対象

コンペティション(中央工学校)

佳作 3年 三浦梨花

●GRAPHIC ARTS

●学校法人小井出学園 小井出ファッ

ションビューティー専門学校主催

第10回 高校生ファッションデザイン

入選 4年 武田瑞穂

●平成29年度 東京都高等学校定時制

通信制・春季大会(単)兼 第19回

全国高等学校定時制通信制大会東京

都予選(単)バドミントン大会

準優勝 4年 千葉桂子

東京都代表選出(全国大会出場)

●平成29年度 東京都高等学校定時制

通信制・春季大会(複)バドミント

ン大会

3位 4年 千葉桂子

1年 磯夏梨 ペア

●東京都高等学校体育連盟 定時制通

信制部会 春季剣道大会

男子個人戦第3位 3年 栗林慶太

●全国高等学校定時制通信制体育大会

第48回剣道大会

男子団体戦 準優勝 東京A

インテリア科 3年 栗林慶太

●伊藤園おくいお茶 新俳句大賞

佳作

3年 アートクラフト科 山崎千夏